



# 私立高等学校の特色



先日、ノートルダム女学院高等学校の教員対象学校説明会に参加しました。その中で私立高等学校の特色について、わかりやすいお話があったので紹介します。

私立高等学校を分類する際、4つの項目で考えると差別化され、わかりやすいというものでした。その項目とは以下のものです。

私立高等学校の4つの分類項目	
① 共学 or 別学 [ 共学校 or 男子校 or 女子校 ]	
<p>大きな分類の1つとして、「共学か別学か」ということがあります。共学は中学校と同じ環境なのでイメージがしやすいと思いますが、男子校や女子校は経験をしたことがないため、さまざまな情報からしか想像できないと思います。しかも、その想像はマイナスなイメージが先行しているように感じます。</p> <p>実際、男子校や女子校に進学した卒業生に話を聞くと、「すごく気楽で良い」「同性しかいないから周りの目を気にせず、全力で頑張れる」など、中学生の頃とは違う感覚だったという意見が多いです。</p> <p>頭から別学を外すのではなく、学校見学へ行き、学校の雰囲気を感じ、学校説明や在校生の話も聞きながら、総合的に判断してほしいと思います。</p>	
② 学級数の規模 [ 大規模校 or 中規模校 or 小規模校 ]	
<p>1学年でどれだけ生徒が在籍しているか、という点で高校を分けてみます。</p> <p>大規模校は10学級以上、中規模校は6~9学級、小規模校は5学級以下という分類です。すると以下のようにおおよそ3分の1ずつになります。</p> <p style="text-align: center;">【データは令和3年高校1年生の学級数、□は別学の高校】</p>	
小規模校 (12校)	一燈園、京都暁星、京都国際、京都聖カタリナ、 <span style="border: 1px solid black;">華頂女子</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">ノートルダム女学院</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">平安女学院</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">福知山淑徳</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">洛星</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都光華</span> 、京都芸術、日星
中規模校 (13校)	<span style="border: 1px solid black;">同志社女子</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">洛陽総合</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">同志社国際</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都聖母学院</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都西山</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都廣学館</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都成章</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都共栄学園</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">同志社</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都外大西</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">洛南</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都女子</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都翔英</span>
大規模校 (14校)	立命館、 <span style="border: 1px solid black;">京都精華学園</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都明德</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都文教</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">福知山成美</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">花園</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都橘</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都産業大学附属</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">立命館宇治</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都先端科学大学附属</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">京都両洋</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">東山</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">龍谷大学附属平安</span> 、 <span style="border: 1px solid black;">大谷</span>
<p>「学級数が多い＝生徒数が多い」ということですから、同級生が多くなります。体育大会や文化祭などのイベントは人数が多いことで大規模になり、とても盛り上がるでしょう。</p> <p>生徒数が少なければ、先生たちの数も少ないですから、お互いに顔や名前を覚えやすいですし、アットホームな雰囲気です。毎日の生活を過ごすことができるでしょう。</p> <p>学級数に関しては、完全に好みだと思います。しかし、入学してみたら思ったよりも生徒が多くて、自分のイメージと違った、ということがないように、学校見学などで確かめてください。</p>	

### ③ 宗教性の有無 [ キリシト教 or 仏教 or 無宗教 ]

私立高校は宗教法人が経営しているものが多いです。そのため、建学の精神（育てたい生徒像）において、それぞれの宗教の考え方を反映しています。実際、授業の中に「宗教」という科目があったり、その宗教にとって大切な日にはイベント（ミサや集会など）があったりします。ただ、宗教に関することはそれくらいで、信者でないと入学できなかったり、入試に有利になったりすることはほとんどありません。（実際、信者の生徒は圧倒的に少ないです。）

それぞれの信仰がありますから、宗教に関することはご家庭でよく話し合ってください。建学の精神や考え方は、基本的に学校パンフレットの最初の方に掲載されていますので、気になる方は確認してください。

### ④ 私立大学への進路 [ 大学附属 or 指定校推薦 ]

私立高校の大きな推しの1つとして、「私立大学への進路」が保障されている点があります。

「大学附属」とは、大学が高校の経営をしており、高校で一定の内申成績を残していれば、入試を受けずにエスカレーター式で大学に進学できます。また、同じ組織が運営していると、大学と高校が系列校となっており、同じように入試を受けずにエスカレーター式で大学へ進学できます。

「指定校推薦」とは、大学が定めた指定校の生徒のみが出願、受験できる推薦入試制度です。指定校は、大学が高校のこれまでの進学実績に応じて指定します。この指定校の権利をたくさん保有しているのも私立高校の特徴の1つです。もちろん公立高校も保有していますが、私立高校だと、高校3年生全員の人数よりも多く保有している高校もあります。

「大学附属」も「指定校推薦」もメリットはいろいろありますが、主に「大学入試のための塾や予備校の費用が抑えられること」「部活動などに卒業ギリギリまで取り組むことができること」が挙げられます。高校を卒業してからの進路を今のうちから考えたい人は、「私立大学への進路」という視点を持つことも良いと思います。

このように4つの項目で分類し、それぞれの選択を行った結果、重なり合った部分に自分の「適した私立高校」があります。（下図を参照）

公立高校を第1志望にする人も、併願校として私立高校を受験する人がほとんどです。例え併願だったとしても、自分が進学する可能性は0%ではありません。「もし、自分がこの学校に進学するなら…」という目線で常に考えてください。いい加減なことをしていると、最後に泣くのは自分自身です。

### 私立高等学校の特色

